

## 〈まとめ：『女性活躍推進の取組事例集』から見えるもっと大事なこと〉

2021年08月01日 twitter 発信記事

4年前から4号目の「海事産業における 女性活躍の取組事例集」を見て驚く。「内航船に女性船員って無理に言ってるんじゃないの」「入って来られてもなあ」等とまだ言っている人は時間止まっています。たった4年。今は変化が激しい。

### ★ 創刊のVol.1から順に、その激変を紹介します。

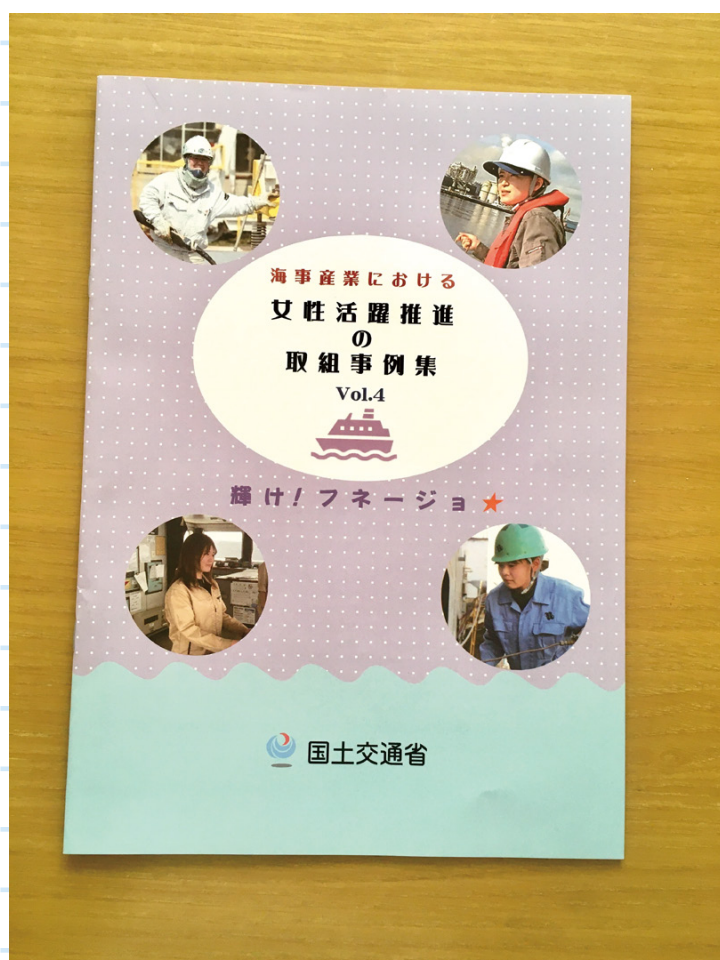
2017年のVol.1には、女性活躍推進を目指すにしても考え方にもバラツキがある。あからさまに労働人口の減少を理由に外国人や女性を雇用したいと話す会社や、

つい「女性」を限定的にイキイキと活躍できる職場を目指すと話す会社など、当時の一般的な雇用者のムードがうかがえます。(今読むとですが)。

Vol.3になると、「女性だけでなく全員が成長」と見出しの会社。女性活躍推進の行き過ぎたアピールを牽制できるリアルに実績を持った会社が現れ、「明るく自由な職場で男女問わず活躍を」と頼もしい女性たちの写真とともに紹介する会社も紹介されていきます。

そうか。そうなんだ。

これらの流れは海事産業に挑戦



内航船の日ゆるキャラ「ないんこ」

ふと海を想う。島国の暮らしと内航船をイメージする日。

内航船の日は、2015年に日本記念日協会によって正式に認定された記念日です。

みんなで広めよう！7月15日は、内航船の日

していった女性たちが定着して信用と実績を蓄え「会社の常識を変えてきた成果」なのだ。そして今年（2021年7月29日発行）のVol.4。ついには、『ジェンダーフリー 誰もが活躍できる会社を目指して』にまで突き抜けていました。

★「女性のため」から「社会や産業自体のため」に。

女性船員を採用し、会社として対応していくことで結果的に『船員のコンプライアンス意識も向上しました』(Vol.4)と会社。

たった4年です。この変化。この変化を認識できていない事業者は、絶対に4年前のままの認識ではなりません。そして全ての船員も同じです。今や「女性活躍推進」に取り組む会社は、性別に関係なく選ばれる会社を目指しています。男性船員にとっても、会社が行う「女性活躍推進」への取り組みは、会社を評価する一定の判断基準になっていくといえます。

また、男性船員もこういった会社の意志に共感し、現場で様々な課題を克服しながら勤務を続けることで、会社や産業自体に思いがけない成長をも促していくことがすでに証明されています。

是非、「海事産業における 女性活躍の取組事例集」を入手してみしてほしいと思います。（了

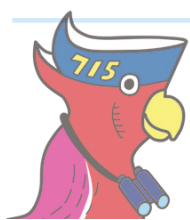
(VOL.1~4 リンク先)

『輝け!フネージョ★』 プロジェクト (国土交通省海事局)

[https://www.mlit.go.jp/maritime/maritime\\_tk5\\_000060.html](https://www.mlit.go.jp/maritime/maritime_tk5_000060.html)

記録的な冊子制作を続けてきた制作者の苦労と努力に敬意を表します。

全日本内航船員の会 事務局



内航船の日ゆるキャラ「なインコ」

ふと海を想う。島国の暮らしと内航船をイメージする日。

内航船の日は、2015年に日本記念日協会によって正式に認定された記念日です。

みんなで広めよう！7月15日は、内航船の日